

提携米通信

2021年6月号・黒瀬農舎

田植え・無事完了。次はマカモ君の出番だ！



田植え順調です。 2021.5.23撮影
一番下の孫だけが田圃に来ましたが、この子も多分田圃に来るのは今年で最後でしょう。

コロナの猛威はまだ衰える様子がないようです。

新聞の全国発生情報を見ると、当地・秋田県は島根県・鳥取県などと共に、日々の発症者数は極端に少ないようです。

これぞ、人的交流の少ない「後進地域・田舎県」であること

この証明のようで、何だか嬉しいようで衰れなような複雑な気持ちも起こります。

また、我が村では、県外に出かけた人は最低1週間は、村民センターなど公共施設や買い物などの外出を遠慮するのが常識になっていますが、都会地の方に伝えると驚かれます。

皆さまも不都合な日々がまだ続きます。どうぞ我慢され、お気をつけてお過ごし下さい。

ところで、お米作りの春作業は、今年は雨が多く、湿潤な田圃ばかりの当地では、雨が降ると数日トラクター作業が中断されるため、田植え準備に苦労した年になりました。

しかし、苗も無農薬ですこぶる順調に成育し、例年と余り遅れることなく5月23日から田植えをスタートさせました。

私が脱サラして、滋賀県から当地に来てお米作りを始めた頃は、最近のような精度や能率の高い田植え機がまだ出来ていない時代でしたから、全部手で植えていました。

当時としては、規模が大きい米作りでしたから、数人では植えることは不可能で、すべてパートさん頼りでした。でも、この頃には一日に200人のパートさんを頼むことが可能な時代でもありました。今は田植え機の補助要員に2、3人のパートさんを探すのも大苦勞で、今年は村にある県立大学の学生に土日だけの応援を頼むのがやっとです。

我が家の孫も、小学4年生の一番下の孫だけが土日田圃に来ていますが、中学や小学生でも高学年になった上の孫たちは、クラブ活動などでサッパリ田圃にこなくなりました。これが成長だと思って諦めています。

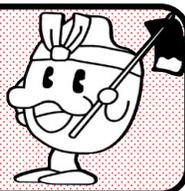
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



E-mail: akita@kurose.com Web: 提携米 黒瀬農舎 検索

★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。
変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。
★お米のご贈答利用も宜しくお願いたします。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承願います。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

有機の苗作りは神経が疲れます。

田植え機が普及して以来、日本の苗作りは、縦60センチ、横30センチで、深さ2センチのごく浅いプラスチック箱に薄く土を入れ種を蒔く「箱育苗」になりました。

この箱の苗が根をからめマット状に仕上げ、田植え機にセットするという仕組みです。



有機のプール育苗順調な生育！2021.5.15撮影

この箱育苗は、土が僅かしかありませんから、土壌微生物の苗への効力が発揮できず、病気などに罹り易いという欠点があります。

そのため、一般栽培では、苗に種々の殺菌剤が使われます。

私たちのような有機や無農薬栽培では、農薬を使わないから、その対策として「プール育苗」しています。

この原理は、苗の病原菌は、空気が十分ある状態で繁殖旺盛になるようですから、箱を水に浸した状態にして、苗床を嫌気状態にする訳です。この対策は驚くほど効果的なのです。

普通栽培では、ビニールハウスの中に箱を並べ畑状態で育苗しますが、プール育苗は、屋外・露天で箱の下にポリや塩ビシートを敷き、箱上まで浅く水を張り、プール状態で育てます。

また単なる無農薬栽培だと、肥料は少量の化学肥料を与えますから、苗作りの失敗はほとんどないのですが、我が家のように有機栽培ですと、苗床にも有機肥料を使うことになり、これが大変難しく、全滅するほどの失敗は免れているものの部分的な失敗は毎度です。

これは、箱の中の土が少量のため、与えた有機肥料の分解過程で出る有機酸や醗酵ガスが、気温、水温の変化で、発生量が急に増えるなどによって、苗に大ダメージを与える時があるのです。

有機の肥料の種類を代えるなど色々試行錯誤するものの最良の方法が見つからず困っていました。今年は、有機肥料を、生育中期に遅らせて施してみたところ大幅に改善でき喜んでいるところです。

このように、工夫を重ねる楽しい有機のお米作りが出来ておりますのは、エシカルなライフスタイルをお持ちの皆さまのご支援のお陰です。

今年の田植えの無事完了を機に、あらためてお礼申し上げる次第です。



我が庭の石楠花爛漫！ 2021.5.22撮影

鉢植えで手に入れた西洋石楠花2鉢をレンガで囲った花壇に地植えしました。

植えて2年ほど花が咲きませんでした。

原因は、植床が加湿ではないかと思い、レンガを一段嵩上げてみました。

効果テキメン！ 翌年以來、毎年素晴らしい花が咲くようになりました。

カラー写真でお届けしたいのですが、通信は2色刷り。残念です。